

悲喜こもごもの合格発表も終わりに近づき、人それぞれの新しい春がまもなく始まるう
としているこの頃、金大ワングルOBの皆様におかれましてはご健勝でお過ごしのことと
存じます。

おかげさまでOB会も3年目を迎えることができました。先日2月23日には役員会を開
催し、任期前半の反省を行い、今後の方針を審議致しました。その結果新しい企画を遂行
していくことになり、会報夏号では連絡が間に合わないため、ここに臨時便でのご案内を
送付させていただきます。

山小屋リフレッシュ会

(仮称；正式名は第1回の参加者で協議)

山小屋のリフレッシュと、OBのリフレッシュを目的とする会

1. BHをもっと利用して欲しい。そのために、トイレ、水場、かまど等の整備を、何年
がかりかの計画で行い、居住性を高めていきたい。残材の処分、階段の補修も行う。
2. 山には行きたいけれど、体力と時間が不足して活動できないでいるOBが、気軽に自
然とふれあえる機会としたい。楽しみながら作業を行う。いい汗をかいて、うまい酒
を飲みたい人の会。
3. 参加希望者には車の手配などの便宜を図るが、基本的には自給自足。事前準備の負担
を少なくし、長続きできる運営とする。
4. チーフは辰野 隆義氏。ブレーンは13期連。OBになってからのノウハウ、コネもろ
もろを駆使し、倉谷に「真の贅沢」を問う空間を築きあげる。
5. 5月11日、12日を第1回活動日とする。



OBによる登山道修復作業



補助金が出る今年、OBもやってみまいか?!の企画

昨秋のOB役員と現役3回生の懇親会の折り、登山道修復補助金の話を進めてみるか尋ねた所、現役より「部も個人も万年金欠につき、是非お願いしたい」の返事をもらったのは、会報4号で報告させていただいたとおりです。

2月20日、金沢市の来年度予算折衝があり、スポーツ振興課より、高三郎山登山道修復に対して30万円の補助金があることになりました。

交渉にあたって下さったのは、林 正一金沢ナカオ山岳会代表です。スポーツ振興課の方ですでに、「どの地域」に対して「〇円の補助金」の割り振りはすんでおり、どの団体（森林組合など）が請け負うのかを決めるだけであった、高三郎については、金沢市長より、地域の中に加えるよう特に指示があったとのことだ…と、聞いています。

ただ、林さんは長年金大ワングルが取り組んできた地域と主張して下さったのですが、折衝担当者は学生団体のみを請負人に指定することに難色を示し、山岳団体として実績のあるナカオとの連名を主張。書類はそうように処理されたとのこと。そのあたり、やや懸念が残るのですが、補助金が出るチャンスを大いに生かしたいと、役員会は考えました。

部員減の現在、新トレの下見の際（旧道のみ）に多少の枝をはらうだけの整備となっているわけですが、だからといってそれ以上が言える立場でもなく、ますます道が荒れ、高三郎離れやBH離れが進むこと、それを嘆いているだけではどうにもならないこと…「金大ワングル=高三郎」が社会的にも認知されていた時代（これは現在もです。）を知るOBには、語尾の濁る思いの現状でした。嘆いてばかりいずに、この機会にOBもやってみるか!になったのです。

「どれだけ集まるのかな？」

「昔、何人もでパーティーを組んで、何泊かしてやっていたことを、OBの今、1泊2日で、どれだけやれるのかな？」

「それでも、今やってみないと、高三郎の道はとても修復できない」

「5月は分岐から上は雪の下や。秋も入る…ことになるかな？」

「どれだけ集まるか？どれだけやれるか？実際に5月に高三郎へ行って、現場も見てください、後の予定はたてられんね」

と、ということで、昔部室でくりひろげたような、混沌の討議を重ねた結果…

1. 報告書の記載、概要の把握など、渉外にあたる部分はOB会役員が行う。特に報告書については、林さんのアドバイスをもらい、舟田が担当する。

(具体的に、登山道のどこをどんな状態にまでといった義務はつかず、確かに作業を行ったという証拠が出せればよいのだそうです。)

2. 現金についてはできるだけ現役に渡るようにしたい。かつてこのような部に依頼されたアルバイト収入は、3割を部費に回し、あとを参加部員が山分けしたが、そのあたりは彼等の方針次第。

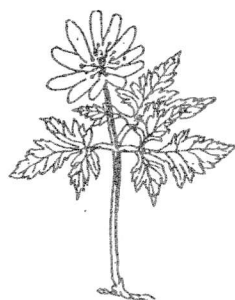
3. 登山道修復に出るOBの諸経費や、必要機材についてはOB会費の方から支出するものとする。報告書上では必要経費として記載処理をするが、実際の補助金については目減りさせることなく現役に渡るようにし、彼等の士気を高めたい。

4. 現役には現役の予定で登山道修復を進めてもらう。連絡はとる。

(補助金がおりましたことは、前田顧問にも現役にも連絡済です。)

5. チーフは 岡部 伸一氏 (18期) と、椿川 利弘氏 (18期)

6. 第1回活動日は 5月11日、12日



この2件が企画されました。

これら小屋の整備、登山道修復にOB会費を支出していくことをご了承下さい。

通信費節約のため、今後のリフレッシュ会の案内については、今回の案内送付希望者に限定します。途中からの送付希望追加や、適宜役員やチーフに問い合わせでの臨時参加は自由です。

リフレッシュ会の活動については、今年は登山道修復作業の影響を受けることになります。計画立案のため、登山道修復参加者をカウントしますが、当日の体調により、行ける

所まで足を伸ばしてみる---や、小屋周辺でストップする---といった変更も自由です。

日帰り、ほか列車時刻による制限などについては、返信はがき中に書き添えて下さい。
「参加したい」の希望を大切に、配慮致します。

地の利ある地元OBには、特に参加をお願いします。

(地元OB一覧を同封します。多数のOBパワーを期待しております。)

今回の申し込み締め切り-----3月末
役員会-----4月10日前後
参加申し込み者に詳細案内発送-----4月20日前後
実施-----5月11、12日

返信はがきにて（もしくは電話；電話は、チーフ宅か事務局 0762-22-9288 へ）
参加ご都合を至急お知らせ下さい。

その他

*部誌BHの発行がまたあやしくなってきました。

5年分原稿が積もっていますが---

*KUWVと分かるワッペン製作

値段、耐久性、デザインの自由さからは、

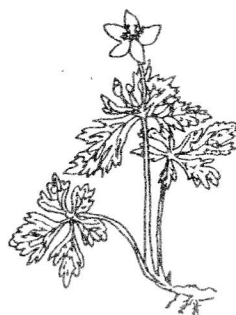
印刷紙をプラスチック板で挟み込み、皮ベルトでぶら下げるタイプがよさそう

デザイン募集（四角型か、丸型か、その一部に入れるのか？未定ながら）

よく考えると、ザックにつけてある場合、見る可能性が少ない（振り返らないと確かめられない）。擦れ違う場面での可能性のためには、帽子や胸につけるバッジもペアで考えないと目的にそえないかも。

*またも年末・年始にひっかかったせいか、一言通信激減。今回の返信、心をこめて投函して下さい。

*今回企画への差し入れ歓迎。現物か、振込（金沢大学ワンダーフォーゲル部OB会 00780-3-14120 通信欄に「小屋作業差し入れ」）で、熱い思いを応援して下さい。



いつかある日

(お誘いに代えて)

いつかある日 責任の重荷をおろす時
私は旺盛な好奇心と それを満たせる健康な肉体をもって
新しい門出に立ちたい

せっかくの小金を 医療費と 健康食品と ミネラルウォーターに費やし
せっかくもどってきた時間を 医者通いと 昔話と ぐちに費やすことを
私は望まない
だからといって ヘッドホンに耳をふさぎ エアロバイクで仮の汗を流すことも
私は望まない

私は覚えている
せせらぎの歌 縄張を競う小鳥達のさえずり
マンサクがあちこちで雪をはねのける音
ひそんでいたケモノが駆けさった後の
いつまでも打ちつづけていた私の胸の高鳴り



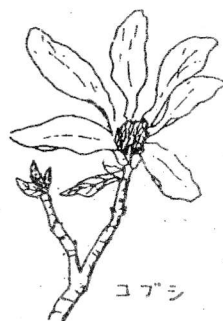
私は覚えている
浮かんだ汗をはらった緑色の風 分け合ったレーズンの甘さ
鯨のごとく飲めた沢水 見渡す山々の中に混在した思い出と憧れ

学生時代を脱ぎ降ろし 責任を担いだ私達は 多くのことをあきらめた
その年月は
二者択一の「できない」から
わずかの支障でもあれば「できない」へと
私達をかたくなにしたのではないだろうか
一つの「できない」が 次の「できない」も招き寄せる
一つの「やれる」は 次の「やれる」も招き寄せる

その年月が加算されていく

現実と願望の差を埋めるのは
今のわずかな決断ではないだろうか

いつかある日 責任の重荷をおろす時
同じ志の友と 同じ重荷を担いできた伴侶と
にこやかに
新しい門出に立ちたい



OB会報「やまざと」 '96号外

発行日 平成8年3月

発行者 大島 良治

印刷 坂尻 忠秀

山小屋リフレッシュ会 辰野 隆義 0762-47-6023

登山道補修 岡部 伸一 0762-57-7521

椿川 利弘 0762-75-3380

事務局 舟田 節子 0762-22-9288

金沢市橋場町10-49